

ヤ一
昭和四十六年十二月

(友の会より)

年の瀬もせまり寒さが一段と身にしみまころとなり其の後、皆様如何お過ごしでしょうか。

才一回設立祝会も晴天に恵まれ、八十人におよぶ皆様のお出席をいただきました事を関係者一同心より感謝いたして居ります。

関西方面から、東北方面からと遠路はるばるご出席下さった方もあり病身をおしこの旅次にさぞおつかれの事と思います。しかし皆様お元気で長い時間熱心に討議され、又、先生方のお話しを聞かれ本当にござやかな才一回祝会風景でした。

話題は治療費を国庫負担にしてほしい事、一日も早く原因を究明してほしい事、ステロイドホルモンに対する不安等でした。

冬の日の夕暮は早く、暗くなる迄お互い話し合って居られた人達の姿が一段と印象的でした。関係者一同精一杯時間を考へたのですが話題はつきず

先生方もとても熱心に皆縁と親しく対応されるなど、時の過ぎるのを惜しみ
ごばり次回に希望を託して閉会（五時三十分）となりました。総会の様子は
NHKとTBSテレビでニュースの中継放送されました。

（総会にて決定した事項）

一、当会の運営方法については運営委員を受けられる症状の人、もしくは家
族の人にお願する。

一、役員は運営委員と運営委員代表として河野、森田、佐藤の三人でその時
の病状ごいづれかが代表を勤める。

一、機関紙の発行等も運営委員会にて方針を討議する。

尚、しばらくの間、事務局として全ての連絡事項は佐藤宅にて行う。

膠原病友の会事務局

佐藤エミ子方

以上

末筆でございますが当日会場にて御寄附くだされた方々へ、ご出席されな
くても会費にとご送金下さいました多くの皆様、そしてこれ迄運営費の一部
にとご寄附を送って下さった皆様本当にご協力ありがとうございました。こ
の紙上をもって厚く御礼申し上げます。

尚十一月末迄の入会者名簿を揃えましたので同封致します。寒さが
きびしくなりますのでくれぐれも皆様お身体を大切にして下さい。そして
お互いにがんばりましょう。

なほ、今後共、会の発展と社会への啓蒙の為、御協力下さいます事をお願い
いたします。

(事務局より)

①アンケートのまとめは保険同人社の「暮らしと健康」の二月号に校友会報告と

共に載せてあります。

② 春しと健康と皆様からの投稿を出して頂く事になりました。その原稿を
よせ下さい。

③ 運営委員の皆様へ

年内は余りありませんので来春に才一回を予定しています。後日日程は連
絡致します。

昭和四十六年十二月

膠原病友の会事務局

河野 十寿子

森田 かよ子

佐藤 エミ子